

内部被曝からいのちを守る

講演会 & シンポジウム

3.11 東日本大震災と福島原発事故から1年が過ぎましたが、日本政府の事故収束宣言にもかかわらず、福島第一原発の放射性物質放出は続き、県内外の人々は不安の中に暮らしています。

外部被曝に加え、脅威である「内部被曝」については、国内でこの問題に取り組む研究者、医師は、少数者であると言います。しかし、私たちは、子どもたちの未来のためにも、真実を知り、できる限りの対応をする必要があります。そこで、内部被曝の研究が進んでいるドイツから、この問題に詳しいドイツ放射線防護協会会長のセバスチャン・プフルークバイル博士を招いて、今必要な基本的知識を得たいと思います。また、国内でこの問題に取り組む医師、研究者、実践者にも同席していただき、講演者との情報・意見交換を公開シンポジウムとして聴衆と共有してもらいたいと思います。そうして、内部被曝の不安に苦しむ人々と共に、対応措置を考える機会といたします。ぜひご参加・ご協力ください。

日 程

講演会 2012年6月30日(土) 開場 12:30 開演 13:00 ~ 17:00
セバスチャン・プフルークバイル博士

シンポジウム 2012年7月1日(日) 開場 13:30 開演 14:00 ~ 16:30
セバスチャン・プフルークバイル博士
山田 真さん、岩田 渉さん、深川 美子さん、富塚 千秋さん

講 演



セバスチャン
プフルークバイル博士

ドイツ放射線防護協会会長、欧州放射線リスク委員会副会長

1947年生まれ

1990年ベルリンで市民団体「チェルノブイリの子どもたち」を設置し、長年ドイツ・チェルノブイリ支援協会の理事を務めた。原子力発電所周辺における子どもの癌発病率増加についての研究調査(KiKK調査)の専門家

シンポジスト

セバスチャン
プフルークバイル博士
ドイツ放射線防護協会会長

山田 真さん
子どもたちを放射能から守る全国小児科医ネットワーク代表

岩田 渉さん
市民放射能測定所理事(福島市)

深川 美子さん、富塚 千秋さん
福島 避難母子の会 in 関東



会場

日比谷コンベンションホール

(千代田区立図書文化館大ホール) (先着 200 名)

http://hibiyal.jp/hibiya/guide_13.html

参加費

1 日目 (6/30) 1,000 円

2 日目 (7/1) 500 円



主催 日本キリスト教協議会 (NCC) 平和・核問題委員会

協賛 日本キリスト教協議会エキュメニカル震災対策室 (NCC - JEDRO) 助成事業

賛同 キリスト者政治連盟、原子力行政を問い直す宗教者の会、原発体制を問うキリスト者ネットワーク、憲法を生かす会、こどもたちを放射能から守る福島ネットワーク、市民と科学者の内部被曝問題研究会、東京聖書集会、日本カトリック正義と平和協議会、日本基督教団、日本基督教団神奈川教区核問題小委員会、日本キリスト教婦人矯風会、日本キリスト者医科連盟、日本バプテスト連盟東日本大震災被災地支援委員会、日本福音ルーテル教会、福島 避難母子の会 in 関東、平和を実現するキリスト者ネット

(団体アイウエオ順・5月26日現在)

<他にも賛同団体が多数増える予定です。当日の配布資料にすべて掲載させていただきます。>
団体・個人で賛同のお申し出をいただける方は、集会実行委員会・内藤までお問い合わせください。

連絡先

NCC 平和・核問題委員会集会実行委員会 (内藤新吾)

Tel & Fax : 047-362-4857 E-mail : sf-naitou@nifty.com

NCC 所在地 : 東京都新宿区西早稲田 2-3-18-24

Tel : 03-3203-0372 FAX:03-3204-9495 URL : <http://ncc-j.org/>

※このチラシは、NCC のホームページでも見ることができます。